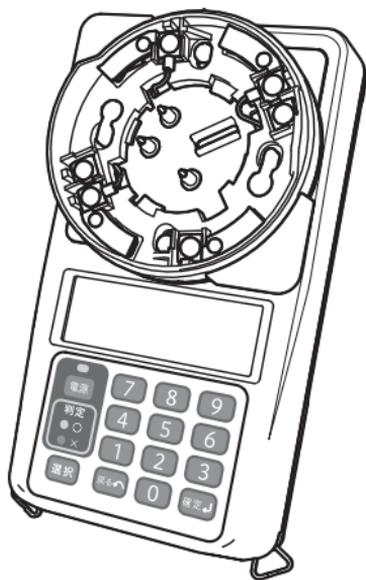


取扱説明書
煙感知器用感度試験器
FTDJ001-P



- この取扱説明書は本機器を収めているソフトケースに保管してください。
- 本機器は、(一財)日本消防設備安全センターの性能評定品で、3年以内の校正が必要です。
- 必ず消防法に定められた有資格者が試験を行ってください。

NOHMI

はじめに

- このたびは、当社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に商品の内容物が揃っているか、また輸送中の事故などにより部品の脱落や破損がないかをご確認ください。
- 本機器は、光電式スポット型および、イオン化式スポット型感知器の感度試験に使用する試験器です。
電池(単3形アルカリ乾電池またはニッケル水素電池4本)または専用ACアダプタ(別売)が必要です。
(専用ACアダプタはAC100V [50Hz/60Hz]に接続してご使用ください)
- 本機器は、(一財)日本消防設備安全センターの性能評定品です。
法令に定められた自動火災報知設備の保守点検に使用できます。
- 本機器を正しく安全にお使いいただくため、本取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
また、本機器を使用される場合には本取扱説明書を携帯してください。
- 本文中には、以下の警告文と記号にて注意喚起を行っている箇所があります。以下の表示をよく理解したうえで、本文をお読みください。
- 警告文
危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをした場合に生じるおそれがある内容を、「警告」、「注意」の2つに区分しています。

警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うかまたは防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼすことが想定される危害の程度を示しています。
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか、防災機能に悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。また、防災機能を長期にわたって有効に活用するうえで、ぜひ守っていただきたい事項について示しています。

目次

1. ご使用上の注意	1 ページ	1
2. 内容物のご確認	3 ページ	2
3. 各部の名称	5 ページ	3
4. 保管場所	6 ページ	4
5. 電源の入れ方	6 ページ	5
6. 準備するもの(測定ベース)	10 ページ	6
7. 感度試験の方法	13 ページ	7
8. 試験可能な機器と判定基準一覧	27 ページ	8
9. 試験で異常が発生した場合	33 ページ	9
10. 故障かな?と思ったら	38 ページ	10
11. 保守・校正について	39 ページ	11
12. 仕様	39 ページ	12

1. ご使用上の注意

1

●記号

	警告・注意を促す内容があることを示しています。
	禁止内容を示しています。
	行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告 	自動火災報知設備の試験および保守点検は、必ず消防法に定められた有資格者が行ってください。
警告 	本機器は、光電式スポット型および、イオン化式スポット型感知器の感度試験に使用する試験器です。ほかの用途には使用しないでください。
警告 	機器を分解・改造・修理しないでください。 感電・故障・発熱・発火のおそれがあります。
警告 	機器には、落下や衝撃などによる強い衝撃を与えないでください。 機器を破損するおそれがあります。
警告 	落下した機器や衝撃を与えた機器は使用しないでください。 正常に作動しないおそれがあります。

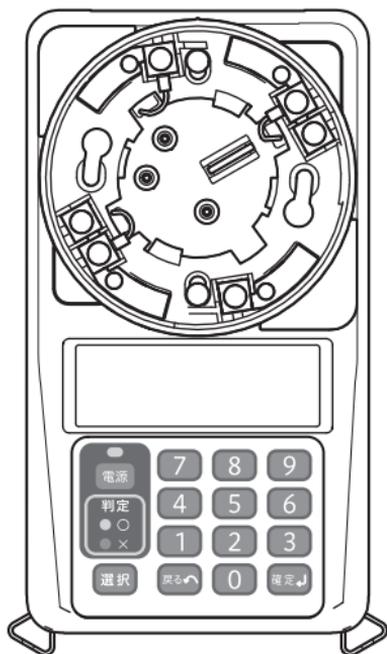
<p>警告</p> 	<p>雨水のかかる場所、湿度・水蒸気の発生する場所での保管や使用はさけてください。故障の原因となります。</p>
<p>警告</p> 	<p>直射日光が当たる車の中など、温度や湿度が高い場所に放置しないでください。</p>
<p>警告</p> 	<p>ストラップは肩に掛けて使用してください。 首に掛けて使用した場合、誤ってストラップが首に巻き付き、事故につながるおそれがあります。</p>
<p>注意</p> 	<p>ストラップが直接触れる肌などに異常を感じたら使用を中止してください。 そのまま使用すると、炎症やかぶれの原因になることがあります。</p>

2. 内容物のご確認

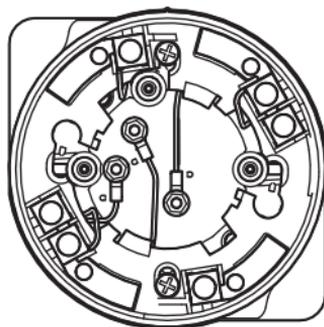
● 下表を参照のうえ、商品の内容物が揃っていることをご確認ください。

2

No.	名称	備考	数量
1	感度試験器本体	型名：FTDJ001-P	1
2	FDK229系煙感知器用 アダプタベース	型名：ZTBJ003	1
3	ソフトケース	-	1
4	ストラップ	-	1
5	取扱説明書	本書：TN52004 ◀	1
6	コネクタカバー (装着済)	型名：57-14S	1
7	ミゼットヒューズ (装着済)	0.5A / 125V	1
8	単3形乾電池	市販品のアルカリ乾電池 (1.5V) またはニッケル水素電池 (1.2V) が使用可能	4



感度試験器



FDK229系煙感知器用
アダプタベース



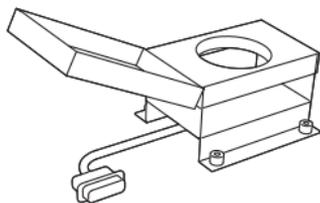
コネクタカバー



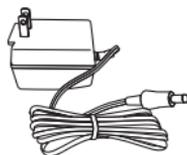
ミゼット
ヒューズ

- 下表は別売品です。購入の際には当社または購入先までご連絡ください。

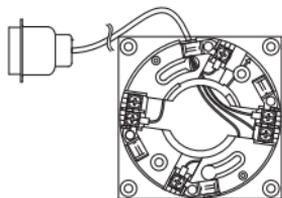
No.	名称	備考	数量
1	小形煙感知器用 感度試験器 アダプタベース	型名：ZTBJ001 注>FTD024にて使用していた物を 使用できます。	1
2	FDS221系煙感知器用 アダプタベース	型名：ZTBJ002 注>FTD024にて使用していた物を 使用できます。	1
3	ACアダプタ	入力：100V ± 10%、50 / 60Hz 出力：DC6.5V / 300mA 型名：2A-1271 (アドレス設定器(FZAJ004-P)など と同じ当社指定のACアダプタ)	1
4	FDKJ257N系 小形煙感知器用 アダプタベース	型名：ZTBJ004 注>ZTBJ001/002の代替品ではあり ません。FDKJ□□□Nシリーズ (Ø100または小形)の一般型光 電式感知器のみ試験可能です。	1



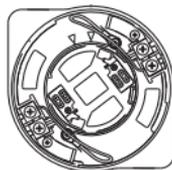
小形煙感知器用感度試験器アダプタベース



ACアダプタ



FDS221系煙感知器用
アダプタベース



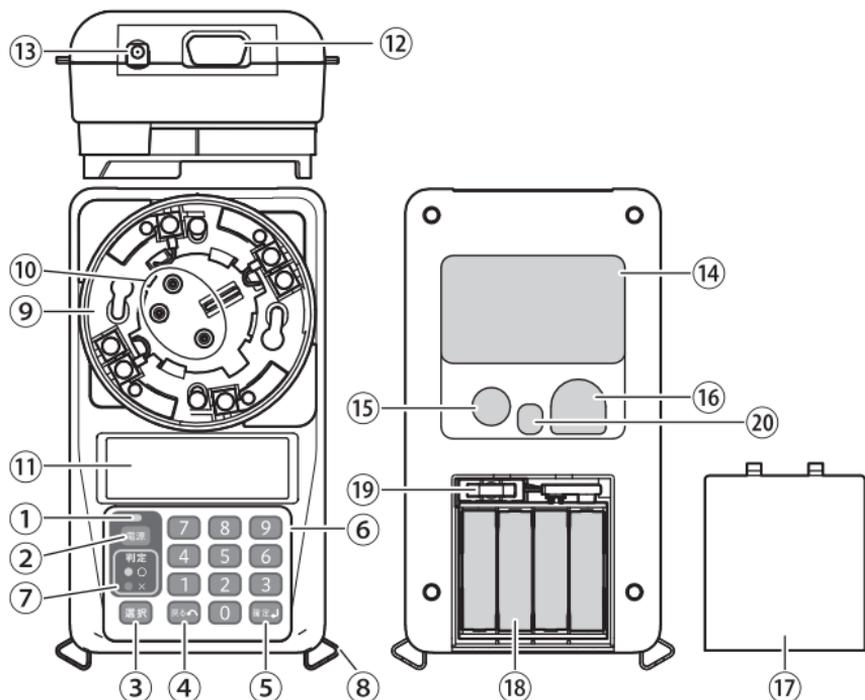
FDKJ257N系小形煙感知器用
アダプタベース

3. 各部の名称

●機器の各部の名称は以下のとおりです。

No.	各部名称	No.	各部名称
①	電源灯(緑)	⑪	LCD画面
②	『電源』ボタン	⑫	コネクタ
③	『選択』ボタン	⑬	DCジャック
④	『戻る』ボタン	⑭	機器銘板
⑤	『確定』ボタン	⑮	評定証票
⑥	テンキー(0～9)	⑯	次期校正シール
⑦	判定灯(緑/赤)	⑰	電池カバー
⑧	ストラップ用金具	⑱	電池収納部(※1)
⑨	本体ベース	⑲	ミゼットヒューズ(0.5A/125V)
⑩	テストピン	⑳	追加証明シール

※1：単3形アルカリ乾電池またはニッケル水素電池4本を収納。



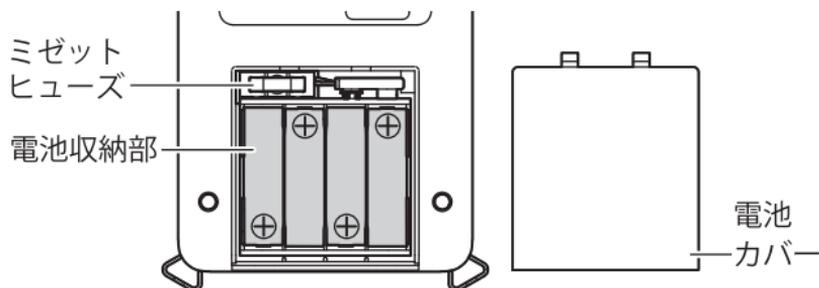
4. 保管場所

- 本機器、付属品は専用ソフトケースに入れて保管してください。
- 周囲の温度が0～40℃の範囲の場所で保管してください。
- 落下や振動等の衝撃がかからない場所で保管してください。
- 高温多湿やゴミ・ほこりのある環境はさけて保管してください。
- 長期間使用しない場合には、電池を抜いて保管してください。

5. 電源の入れ方

5-1. 電池の取り付け/交換

- ① 電池カバーを下にスライドして本体から外してください。
- ② 単3形電池4本を電池収納部の底に表示されている+・-と同じ向きに入れてください。
(アルカリ乾電池またはニッケル水素電池)
- ③ 電池カバーを本体に取り付けてください。



- 電源を入れた状態で、電池の寿命が近づくと、LCD画面に『デンチヲ コウカンシテクタサイ』と表示され、電源灯が点滅しますので、新品または充電済みの電池に交換してください。そのままにしておくと、『デンチデンアツ→テイカ シヨウフカ』と表示され使用できなくなります。
- 電池を入れた状態で電源が入らない場合は、電池の交換をお試しください。新品または充電済みの電池に交換しても電源が入らない場合は、P.38『10. 故障かな?と思ったら』をご確認ください。

警告 	電池は＋・－の向きを間違えないでください。破損の原因となります。 必ず、電池の向きが正しいことを確認してから電源を入れてください。
警告 	新しい電池と使用した電池、種類や銘柄の異なる電池を混ぜて使用しないでください。 電池が漏液、発熱、破裂したり、機器を破損させるおそれがあります。
注意 	ACアダプタを本機器のDCジャックに接続した場合には、コンセントに接続して使用してください。 (ACアダプタをDCジャックに接続すると、電池から給電されません)
注意 	電池交換の際は、本機器の電源を切ってから交換してください。故障の原因となります。 (P.17の『電源を切る場合には…』を参照)
注意 	長期間使用しない場合には、電池を抜いて保管してください。電池が漏液するおそれがあります。

5-2. ACアダプタとの接続

- ACアダプタとの接続は、本機器のDCジャックにACアダプタのプラグを根元まで差し込んでください。
次に、ACアダプタをAC100Vのコンセントに根元まで差し込んでください。

注意 	必ず当社指定のACアダプタを使用してください。 当社指定品以外の使用は故障の原因となります。
--	---

5-3. 電源起動後の時刻設定

注意



時刻設定をしない場合、FDKJ□□□Nシリーズ以降の感知器に正しい試験日時を記録できません。
必ず正しい時刻を設定してください。

- 初回電源起動時に、以下の時刻設定画面が表示されます。
現在時刻と異なる場合には、正しい時刻を設定してください。

- ① 電源起動後に以下の画面が表示されます。
現在時刻と異なる時間を示している場合には、NOを選択して『確定』を押してください。
(点滅している文字が選択した項目になります)

■:点滅

シ	°	コ	ク	セ	ッ	テ	イ												
	2	0	2	3	ネ	ソ		0	1	カ	°	ツ		0	1	ニ	チ		
			0	0	シ	°		0	0	フ	ソ								
タ	°	シ	イ	シ	°	コ	ク	テ	°	ス	カ	?	Y	E	S	/	N	O	

- ② 以下の操作にて正しい時刻を設定してください。
 - ・点滅している数字が正しい場合には『確定』を押す。
 - ・点滅している数字が現在時刻と異なる場合には、数字のテンキーを押す。
 - ・点滅している数字を戻す場合には『戻る』を押す。

シ	°	コ	ク	セ	ッ	テ	イ												
	2	0	2	3	ネ	ソ		0	1	カ	°	ツ		0	1	ニ	チ		
			0	0	シ	°		0	0	フ	ソ								

- ③ すべての項目を入力すると、①の選択肢が表示されます。
問題ない場合には、YESが点減している状態で『確定』を
押してください。

シ	°	コ	ク	セ	ッ	テ	イ												
	2	0	2	3	ネ	ン		0	1	カ	°	ツ		0	1	ニ	チ		
			0	0	シ	°		0	0	フ	ン								
タ	タ	°	シ	イ	シ	°	コ	ク	テ	°	ス	カ	?	Y	E	S	/	N	O

- 設定した時刻は、「ジコクセッテイ」モードにて変更可能です。

■:点減

5

モ	-	ド	:	シ	°	コ	ク	セ	ッ	テ	イ								

- 電池やACアダプタを抜いても、感度試験器内部の状態保持回路の充電がなくなるまで、設定した時刻は保持されます。
状態保持回路の充電がなくなった場合には、電源起動時に再度時刻設定画面が表示されるため、その際には本章を参照して、再度正しい時刻を設定してください。
- FDKJ□□□Nシリーズ以降の感知器は、「シケン」を実施することで試験日時や結果を感知器内に記録できます。
記録した試験履歴は「チョウサ」モードで読出し可能です。
詳細は、P.24『7-6. FDKJ□□□Nシリーズの操作手順(「シケン」および「チョウサ」)』をご参照ください。

6. 準備するもの(測定ベース)

- 感度試験の前に、試験対象感知器に対応する測定ベースを準備してください。
- 適合感知器の詳細は、P.27『8. 試験可能な機器と判定基準一覧』をご参照ください。
- 「LCD画面の表示」は、感度試験器を操作し、感知器の型名を入力すると表示されます。
表示内容に対応する測定ベースをご使用ください。

種別	感知器の型名	測定ベース	LCD画面の表示
光電式	FDK246シリーズ (146 / 246 / 346 / -X)	① FDK246系用 (本体)	ホンタイ
	FDK246-C		
	FDK246-F		
	FDKJ236シリーズ (236-D-I / 336-D-I)		
	FDK229シリーズ (129 / 229 / 329 / -X / -Y)	② FDK229系 煙感知器用 アダプタベース (型名：ZTBJ003)	ZTBJ003
	FDKL229シリーズ (229 / 329)		
	FDK229-F		
	FDK226シリーズ (126 / 226 / 326 / -X)		
	FDK226-C		
	FDK226 / 226A-F		
	FDKL226		
	FDKJ232シリーズ (232-D-X / 332-D-X)	③ 小形煙感知器用 感度試験器 アダプタベース (型名：ZTBJ001) [別売品]	ZTBJ001
	FDKJ211シリーズ (211-D-X / 311-D-X)		
	FDK228シリーズ (228 / 328 / 228A / 328A / -X)		

種別	感知器の型名	測定ベース	LCD画面の表示
イオン化式	FDS240シリーズ (240 / 340)	② FDK229系 煙感知器用 アダプタベース (型名：ZTBJ003)	ZTBJ003
	FDS226シリーズ (226 / 326 / -X)		
	FDS223A-Iシリーズ (223A / 323A)	④ FDS221系 煙感知器用 アダプタベース (型名：ZTBJ002) [別売品]	ZTBJ002
光電式 (※1)	FDKJ256Nシリーズ (156N / 256N / 356N / -D / -D-X)	① / ⑤ 本体に接続 ただし ZTBJ004にも 接続可能	ホンタイ or ZTBJ004
	FDKJ257Nシリーズ (257N / 357N / -DK-X)	⑤ FDKJ257N系 小形煙感知器用 アダプタベース (型名：ZTBJ004) [別売品]	ZTBJ004

※1：FDKJ□□□Nシリーズ対応

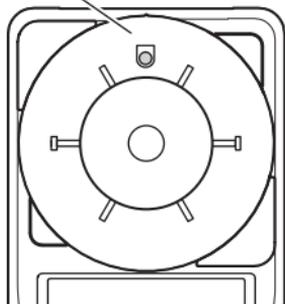
警告 	<p>指定された組み合わせ以外の測定ベースは使用しないでください。</p> <p>誤って取り付けた場合、機器や感知器が破損し正しい測定ができなくなります。</p>
警告 	<p>測定ベースは、配線を取り外したり、分解・改造をしないでください。</p> <p>機器や感知器が破損したり、正しい測定ができなくなるおそれがあります。</p>

感知器および測定ベースの取り付け方向を確認してください。誤って取り付けられた場合、正しい測定ができません。

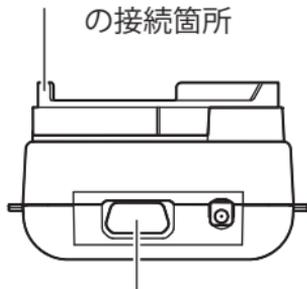
注意



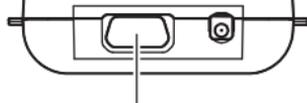
感知器の確認灯
もしくは凸部



②ZTBJ003、⑤ZTBJ004
の接続箇所



③ZTBJ001、④ZTBJ002
の接続箇所



7. 感度試験の方法

- 対象感知器のテスト電圧を確認し、以下の手順に沿って試験してください。

(各操作の詳細は本項のP.18以降で説明します)

7-1. 感知器選択時の操作手順

- ① 試験モード選択
- ② 型名選択/入力

『「シケン」モード(7-2～7-4)』

7-2. 一般型(蓄積式[-C型]、 2信号[-F型]以外)の 感知器の操作手順

- ③ テスト電圧入力
- ④ 感知器取り付け
- ⑤ 試験開始

7-3. 蓄積式[-C型]の操作手順

- ③ テスト電圧入力
- ④ 感知器取り付け
- ⑤ 試験開始

7-4. 2信号[-F型]の操作手順

- ③ テスト電圧入力
(2種⇒3種)
- ④ 感知器取り付け
- ⑤ 試験開始

『「チョウサ」モード(7-5)』

7-5. 「チョウサ」時の操作手順

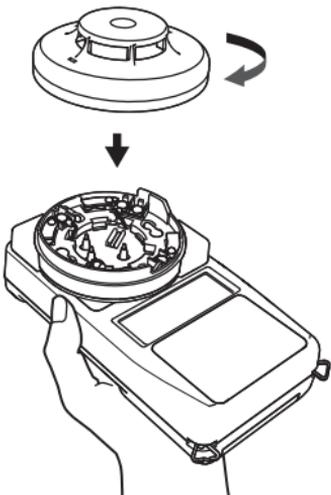
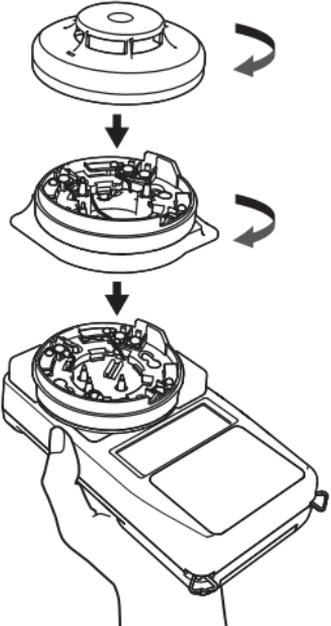
- ③ 感知器取り付け
- ④ 試験開始

7-6. FDKJ□□□Nシリーズの操作手順 (「シケン」および「チョウサ」)

- ① 試験モード選択
- ② シリーズ選択
- ③ 感知器取り付け
- ④ 試験開始

- 「シケン」モードは、感知器の作動閾値と消費電流が、正常範囲内か判定するためのモードです。
通常試験時は、「シケン」モードをお使いください。

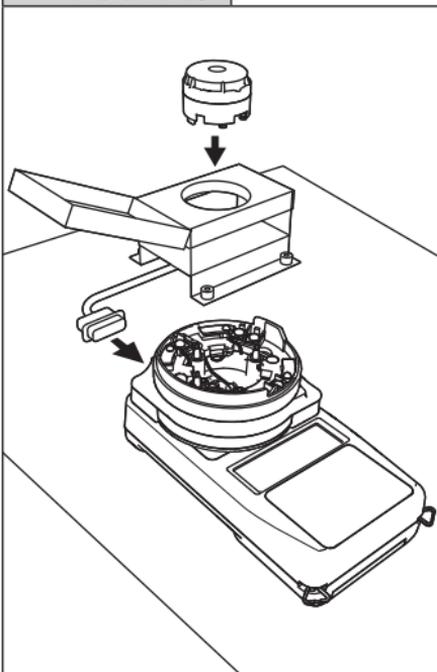
- 「チョウサ」モードは、「シケン」モードにて不合格となった感知器を調査するためのモードです。その他に、FDK□□□Nシリーズは感知器の試験履歴などを確認することができます。
- 感知器によっては、専用の測定ベースを使用する必要があります。感知器の型名を入力すると、LCD画面に使用するアダプタベースが表示されるため、以下を参考に適合するアダプタベースと感知器を取り付けてください。
(適合する感知器と測定ベースの詳細は、P.27『8. 試験可能な機器と判定基準一覧』をご参照ください)

① FDK246系用 (本体)		② FDK229系煙感知器用 アダプタベース (ZTBJ003)	
LCD画面の表示	ホンタイ	LCD画面の表示	ZTBJ003
			

<p>警告</p> 	<p>①本体や②ZTBJ003、⑤ZTBJ004で測定中に、測定ベース③ZTBJ001や④ZTBJ002を接続しないでください。本体や感知器が破損し、正しい測定ができなくなるおそれがあります。</p>
<p>注意</p> 	<p>感知器を測定ベースに取り付ける前に、感知器に記載している型名とテスト電圧を確認してください。</p>
<p>注意</p> 	<p>ピンに汚れや埃が付着していないこと、破損していないことを確認してから感知器を取り付けてください。</p>

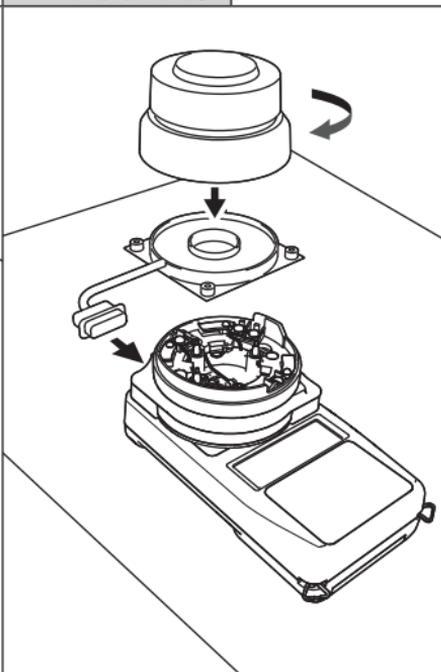
③ 小形煙感知器用感度試験器
アダプタベース (ZTBJ001)

LCD画面の表示 ZTBJ001



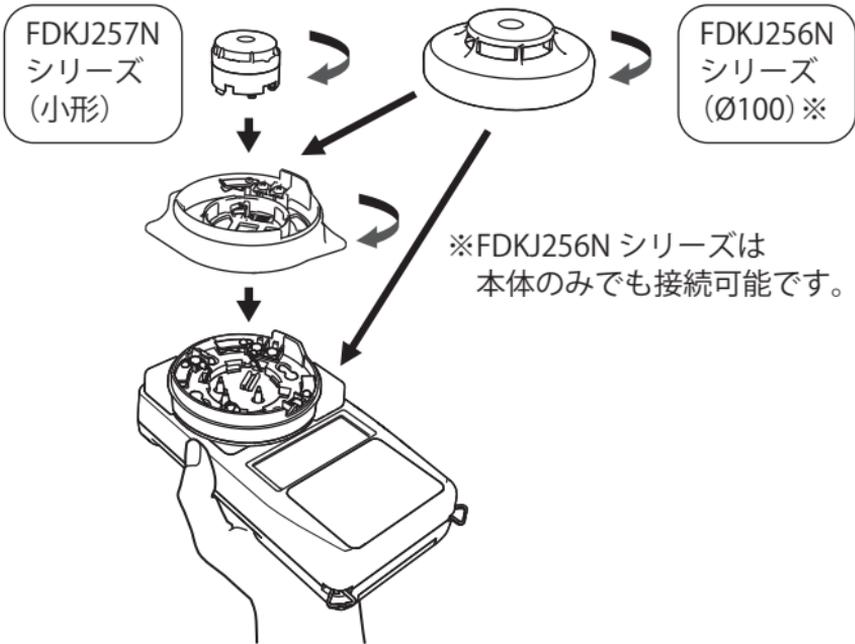
④ FDS221系煙感知器用
アダプタベース (ZTBJ002)

LCD画面の表示 ZTBJ002



注意 	測定ベース③ZTBJ001、④ZTBJ002を使用する場合には、本体とアダプタベースを机等に置き、安定させた状態で試験してください。
注意 	FDKJ257Nシリーズ以降の小形感知器にはT1、T2、T3のテスト端子がありません。③ZTBJ001(小形感知器用)には接続できませんので、必ず⑤ZTBJ004を使用してください。
注意 	⑤ZTBJ004は、FDKJ257Nシリーズ以降の小形感知器に対応するベースです。③ZTBJ001の代替品ではないためZTBJ001の対象感知器を試験することはできません。

⑤ FDKJ257N系小形煙感知器用アダプタベース (ZTBJ004)

LCD画面の表示	ZTBJ004
 <p>FDKJ257Nシリーズ (小形)</p> <p>FDKJ256Nシリーズ (Ø100)※</p> <p>※FDKJ256Nシリーズは本体のみでも接続可能です。</p>	

- 本機器では、特定のボタンを押しながら電源を起動することで、以下の状態になります。

No.	状態	説明	ボタン操作 (2秒以上押し)
1	通常状態	操作音とバックライトがONになります。	「電源」 
2	サイレント状態	操作音がOFFになります。	「選択」 + 「電源」 
3	バックライトOFF状態	バックライトがOFFになります。	「0」 + 「電源」 
4	省エネ状態	操作音とバックライトがOFFになり、電池寿命が長くなります。	「戻る」 + 「電源」 

- 電源を切る場合には、『電源』ボタンを2秒以上押ししてください。
- No.1～4の状態を変更するには、一度電源を切り、再度電源を入れてください。

7-1. 感知器選択時の操作手順(各感知器共通※)

※ FDKJ□□□Nシリーズを除く

① 試験モード選択

電源起動後、
『選択』ボタンで「シケン」
か「チョウサ」を選択する。
⇒『確定』ボタンで次へ

(操作時の例) □:点滅 レ:項目確定

モ	-	ト	°	:	シ	ケン													



②-1 型名選択-1

『選択』ボタンで感知器の
先頭の記号部分を選択する。
⇒『確定』ボタンで次へ

モ	-	ト	°	:	シ	ケン													レ
キ	シ	ユ		:	FDK														



②-2 型名入力

テンキーで感知器の数字
部分を入力する。
⇒『確定』ボタンで次へ

モ	-	ト	°	:	シ	ケン													レ
キ	シ	ユ		:	FDK		2	4	6										



②-3 型名選択-2

『選択』ボタンで感知器
末尾の記号部分を選択
する。
⇒『確定』ボタンで次へ

モ	-	ト	°	:	シ	ケン													レ
キ	シ	ユ		:	FDK		2	4	6	-	ナ	シ							

●上の操作手順は、「シケン」モードの手順です。

通常試験時は、「シケン」モードをお使いください。「シケン」モードにて不合格となった感知器を調査する際に、「チョウサ」モードをお使いください。(P.23『7-5.「チョウサ」時の操作手順』を参照)

●以降の操作手順は感知器の種別により異なります。

P.21の
⑦より

P.21の
③-1へ

⑧ 試験中-3

テスト電圧(2種)判定。
感知器の確認灯が3秒
間点灯。(その後消灯)
感知器の作動後テスト
電圧(3種)印加開始。

FDK	2	4	6	-	F					テ	ン	リ	ユ	ウ	:	○	
V2:	0	.	3	6	V	(0	.	2	5	→	0	.	4	3)	○
V3:	0	.	2	8	V	(0	.	2	9	→	0	.	5	0)	○

⑨ 試験結果

テスト電圧(3種)判定。
感知器の確認灯が3秒
間点灯。(その後消灯)
判定灯が点灯する。

FDK	2	4	6	-	F					テ	ン	リ	ユ	ウ	:	○	
V2:	0	.	3	6	V	(0	.	2	5	→	0	.	4	3)	○
V3:	0	.	4	2	V	(0	.	2	9	→	0	.	5	0)	○
-	-	-	シ	ケ	ン	シ	ユ	ウ	リ	ヨ	ウ	-	-	-			

戻る

- 連続で試験する場合には、

『戻る』または『確定』で③に移行します。

- 試験画面の右端に表示される記号は、試験の判定結果になります。

『合格：○、不合格：×、試験実行不可：-』を示します。(P.19参照)

7-6. FDKJ□□□Nシリーズの操作手順(「シケン」および「チョウサ」)

- FDKJ□□□Nシリーズ以降の感知器は「シケン」を実施することで、試験日時や結果を感知器内に記録できます。

① 試験モード選択

電源起動後、
『選択』ボタンで「シケン」
か「チョウサ」を選択する。
⇒『確定』ボタンで次へ

(操作時の例) □:点滅 レ:項目確定

モ-ト ^レ	:	シケン															



② シリーズ選択

『選択』ボタンで感知器の
シリーズを選択する。
⇒『確定』ボタンで次へ

モ-ト ^レ	:	シケン															レ
キシユ	:	FDKJ	■	■	■	■	Nシリ-ス ^レ										



③ 感知器取り付け

④ 試験開始

⇒『確定』ボタンで試験開始

モ-ト ^レ	:	シケン															レ
キシユ	:	FDKJ	■	■	■	■	Nシリ-ス ^レ										レ
ヘ-ス	:	ホンタイ	or	ZTBJ004													
コカ ^レ	:	タ	→	ZTBJ004	シケン	カイシ?											



⑤ 試験中-1

消費電流を測定。
完了後自動的に遷移。

テンリユウカクコンチュウ																	I:
ヨコ ^レ レリヨウ:									% / m	:							
(% / m)								
S / N:																	



⑥ 試験中-2

消費電流判定。
その後、試験結果などの
読出しを実行。

カント ^レ シケンチュウ																	I:○
ヨコ ^レ レリヨウ:									% / m	:							
(% / m)								
S / N:																	



P.25の
⑦へ

P.25の
⑦より

【「シケン」実施時の表示】

⑦-1 試験結果-1

消費電流と汚れ量の判定結果を表示。
感知器の確認灯が3秒間点灯。(その後消灯)判定灯が点灯する。
⇒『選択』ボタンで次を表示

F	D	K	J	2	5	6	N	-	D	-	X					I	:	○
ヨ	ゴ	レ	リ	ヨ	ウ	:		-	0	.	2	%	/	m		:	○	
(-	5	.	0	→		+	5	.	0	%	/	m)			
S	/	N	:	0	1	2	3	4	5	6	7	(2	0	2	3)	→

選択

戻る

⑦-2 試験結果-2

テスト電圧と対象感知器の製造日を表示する。
⇒『選択』ボタンで⑦-1を表示

テ	ス	ト		3	5	0	m	V	(2	0	0	→	5	0	0)
セ	イ	ソ	ウ	ビ	:	2	0	2	3	/	0	1	/	0	1		
																	←

確定

- 連続で試験する場合には、『確定』で③に移行します。
- 試験画面の右端に表示される記号は、試験の判定結果になります。『合格：○、不合格：×、試験実行不可：-』を示します。(P.19参照)
- 「ヨゴレリョウ」(汚れ量)とは、従来から使用しているテスト電圧の初期値からの変化量を、感度変化に換算した値です。テスト電圧の値は「テスト」の欄に表示されます。

注意



新品の感知器は設置から約3時間経過するまでは試験結果に『ミカクテイ』と表示されます。この際に感知器の状態を確認する場合には①にて『チョウサ』を実施してください。

注意



「チョウサ」を実施した場合、試験日時やその結果は感知器内に記録されません。通常時は必ず「シケン」を実施してください。

8. 試験可能な機器と判定基準一覧

- 適合する感知器の情報は以下のとおりです。

適合する測定ベースの詳細は、P.10『6. 準備するもの(測定ベース)』
をご参照ください。

No.	型名	国検型式 番号(※1)	種別	判定基準 (※2)	備考	LCD画面 の表示
1	FDK146	14~4	1種	-30~+10% ただし 0.58V以下		ホンタイ
2	FDK246	14~1	2種			
3	FDK246-X	14~1	2種			
4	FDK346	14~2	3種			
5	FDK346-X	14~2	3種			
6	FDK246-C	15~43	2種	-30~+20% ただし 0.49V以下 蓄積： 15~35秒	蓄積式	
7	FDK346-C	15~42	3種			
8	FDK246-F	16~13	2,3種	-30~+20% ただし 0.52V以下	2信号	
9	FDKJ236-D-I	2020~29	2種	-30~+10% ただし 0.58V以下		
10	FDKJ336-D-I	2020~30	3種			
11	FDK129	5~7	1種	-30~+20% ただし 0.52V以下		ZTBJ003
12	FDK229	3~35	2種			
13	FDK229-X	3~35~2	2種			
14	FDK229-Y	6~67	2種		IOS	
15	FDK329	3~36	3種			
16	FDK329-X	3~36~2	3種			
17	FDK229-F	5~73	2,3種		2信号	
18	FDKL229	6~80	2種		熱煙	
19	FDKL329	6~81	3種		複合式	

8

光電式

※1：国検型式番号は、「感第」および「号」の表記を省略しています。

※2：感知器裏面に記載したテスト電圧の合格範囲を示しています。

No.	型名	国検型式番号(※1)	種別	判定基準(※2)	備考	LCD画面の表示
光電式	20	FDK126	61～53	1種	±0.09V	ZTBJ003
	21	FDK226	61～48	2種		
	22	FDK226-X	61～48～1	2種		
	23	FDK326	61～49	3種		
	24	FDK326-X	61～49～1	3種		
	25	FDK126-C	62～16	1種	±0.09V 蓄積： 15～35秒	蓄積式
	26	FDK226-C	62～17	2種		
	27	FDK226-CX	62～17～1	2種		
	28	FDK326-C	62～18	3種	±0.09V	2信号 熱煙複合式
	29	FDK226-F	62～26	2,3種		
	30	FDK226A-F	62～26～2	2,3種		
	31	FDKL226	63～10	2種	-30～+10% ただし 0.58V以下	ZTBJ001
32	FDKJ232-D-X	2019～1	2種			
33	FDKJ332-D-X	2019～2	3種			
34	FDKJ211-D-X	19～42	2種			
35	FDKJ311-D-X	19～43	3種			
36	FDK228-X	1～45	2種	±0.09V		
37	FDK228A-X	2～32	2種			
38	FDK328-X	1～46	3種			
39	FDK328A-X	2～33	3種			
イオン化式	40	FDS240	9～26	2種	±0.5V	ZTBJ003
	41	FDS340	9～27	3種		
	42	FDS226	61～45	2種	±0.9V	
	43	FDS226-X	61～45～1	2種		
	44	FDS326	61～47	3種	±1.0V	
	45	FDS326-X	61～47～1	3種		
	46	FDS223A-I	60～6～3	2種	±0.9V	ZTBJ002
47	FDS323A-I	60～7～3	3種	±1.0V		

※1：国検型式番号は、「感第」および「号」の表記を省略しています。
 ※2：感知器裏面に記載したテスト電圧の合格範囲を示しています。

	No.	型名	国検型式 番号(※2)	種別	判定基準(※3)		LCD画面 の表示
					汚れ量	テスト電圧	
光 電 式 (※1)	48	FDKJ156N-D	2023~40	1種	±2.5%/m	読み出し値	ホンタイ or ZTBJ004 (※4)
	49	FDKJ256N-D	2023~41	2種	±5.0%/m		
	50	FDKJ256N-D-X	2023~41				
	51	FDKJ356N-D	2023~42				
	52	FDKJ356N-D-X	2023~42	3種	±7.5%/m		
	53	FDKJ257N-DK-X	2023~43	2種	±5.0%/m	読み出し値	ZTBJ004
	54	FDKJ357N-DK-X	2023~44	3種	±7.5%/m		

※1：FDKJ□□□Nシリーズ対応。

※2：国検型式番号は、「感第」および「号」の表記を省略しています。

※3：汚れ量とは従来から使用しているテスト電圧の初期値からの変化量を、感度変化に換算した値です。テスト電圧の合格範囲は、あらかじめ感知器に記憶させた値を読み出して表示しています。なお、どちらを使用しても判定結果は変わりません。

※4：本体のみでも、ZTBJ004を取り付けた状態でも試験可能です。

- 以下のメーカーの型名は、対応する「入力型名」を入力し、試験を行ってください。

判定基準は「入力型名」に対応する範囲となります。

(P.27～P.29の型名と判定基準をご参照ください)

No.	メーカー名 (五十音順)	型名	国検型式 番号(※1)	種別	入力型名	LCD画面 の表示
1	セコム(株)	SM-D0420	14～1	2種	FDK246	ホンタイ
2			14～1	2種	FDK246	
3		SM-D0050	3～35	2種	FDK229	ZTBJ003
4			61～48	2種	FDK226	
5		SM-D0100	5～7	1種	FDK129	
6	東芝設備 機器(株)	SFDK229	3～55	2種	FDK229	ZTBJ003
7		SFDK329	3～56	3種	FDK329	
8	(株)東芝	TFDK229	3～55	2種	FDK229	ZTBJ003
9		TFDK329	3～56	3種	FDK329	
10		TFDK229-X	3～35～2	2種	FDK229-X	
11		TFDK329-X	3～36～2	3種	FDK329-X	
12		TFDK226-F	63～5	2,3種	FDK226-F	
13		TFDK226A-F	62～26～2	2,3種	FDK226A-F	
14		TFDK226	62～8	2種	FDK226	
15		TFDK326	62～9	3種	FDK326	
16	日信防災 (株)	BFDK246	14～22	2種	FDK246	ホンタイ
17		BFDK346	14～23	3種	FDK346	
18		BFDK246-X	14～22	2種	FDK246-X	
19		BTD1317A	7～141	1種	FDK129	ZTBJ003
20		BTD1315A	7～137	2種	FDK229	
21		BTD1315C	7～138	2種	FDK229	
22		BTD1316A	7～139	3種	FDK329	
23		BTD1316C	7～140	3種	FDK329	ZTBJ001
24		BFDK228A-X	7～135	2種	FDK228A-X	
25		BFDK328A-X	7～136	3種	FDK328A-X	
26	BFDK229-F	7～134	2,3種	FDK229-F	ZTBJ003	

※1：国検型式番号は、「感第」および「号」の表記を省略しています。

No.	メーカー名 (五十音順)	型名	国検型式 番号(※1)	種別	入力型名	LCD画面 の表示
27	日本信号 (株)	TD1315C	4~46	2種	FDK229	ZTBJ003
28		TD1316C	4~47	3種	FDK329	
29		TD1315A	3~40	2種	FDK229	
30		TD1316A	3~41	3種	FDK329	
31		NFDK228A-X	3~14	2種	FDK228A-X	ZTBJ001
32		NFDK328A-X	3~15	3種	FDK328A-X	
33		NFDK226A-F	2~20	2,3種	FDK226A-F	ZTBJ003
34		NFDK126	2~10	1種	FDK126	
35		NFDK226	2~11	2種	FDK226	
36		NFDK326	2~12	3種	FDK326	
37	NFDK226-X	2~13	2種	FDK226-X		
38	日本フェン オール(株)	FLS-22SR,MR	4~48	2種	FDK229	ZTBJ003
39		FLS-23SR,MR	4~49	3種	FDK329	
40		FLS-22ST,MT	3~25	2,3種	FDK226A-F	
41		FLS-12SR	62~21	2種	FDK226	
42		FLS-12MR	62~21	2種	FDK226	
43		FLS-13SR	62~22	3種	FDK326	
44	FLS-13MR	62~22	3種	FDK326		
45	(株)日立 製作所	HTD1315A	3~53	2種	FDK229-X	ZTBJ003
46		HTD1316A	3~54	3種	FDK329-X	
47		HTD1315C	3~35~2	2種	FDK229-X	
48		HTD1316C	3~36~2	3種	FDK329-X	ZTBJ001
49		HFDK228-X	1~45	2種	FDK228-X	
50		HFDK328-X	1~46	3種	FDK328-X	
51		HFDK226	61~48	2種	FDK226	ZTBJ003
52		HFDK226A-F	62~26~2	2,3種	FDK226-F	

※1：国検型式番号は、「感第」および「号」の表記を省略しています。

MEMO

(5) 規定の蓄積時間(15～35秒)の間に作動しない

例) FDK 246-C | | | テンリユウ：○ 判定灯：赤色点灯
 テスト0.40V(0.28→0.48)○
 チクセキ：14.0s(15→35s)×
 - - - シケン シュウリョウ - - - | | |

No.	原因	対処方法
1	周囲温度の影響	正常な感知器であっても、気温が高い場所や低い場所で試験を行うと、判定基準を満たさなくなることがあります。 感知器が15～35℃の状態ですら改めて試験を行い、判定基準を満たせば、感度に異常はありません。
2	感知器の故障	感知器の交換をご提案ください。

(6) 試験結果が規定範囲を超えた(FDK□□□Nシリーズ)

例) FDKJ256N-D-X | | | | | I：○ 判定灯：赤色点灯
 ヨコレリョウ： -5.2%/m | | | | | :×
 (-5.0→+5.0%/m) | | | | |
 S/N：01234567 (2023)→

No.	原因(※)	対処方法
1	感知器の故障	感知器の交換をご提案ください。

※ FDK□□□Nシリーズは周囲温度による試験結果への影響はありません。

(7) 試験結果に『ミカクテイ』と表示された

例) FDKJ256N-D-X | | | | | I：○ 判定灯：なし
 ヨコレリョウ： ミカクテイ | | | | | : -
 (-5.0→+5.0%/m) | | | | |
 S/N：01234567 (2023)→

No.	原因	対処方法
1	汚れ量が未確定	感知器の通電から約3時間後に再度試験するか、『チョウサ』モードにて現在値を確認してください。

10. 故障かな？と思ったら

- 本機器が正常に動作しない時や、障害が発生した場合には、以下の内容をご確認ください。
対処できない場合やその他の異常が発生した場合には、当社または購入先までご連絡ください。

No.	症状	原因	対処方法
(1)	「電源」ボタンを3秒以上押しても電源が入らない	① 電池収納部に電池は入っていますか？ 電池の寿命がきていませんか？	新品の単3形アルカリ乾電池、または充電済みの単3形ニッケル水素電池を4本入れてください。
		② 電池の向きは合っていますか？	電池収納部の底に表示されている+、-を確認して電池を入れてください。
		③ (電池使用時) DCジャックに、コンセントから外れたACアダプタが接続されていませんか？	ACアダプタを本体から外してください。 (ACアダプタをDCジャックに接続すると、電池から給電されません)
		④ (ACアダプタ使用時) ACアダプタは、きちんと接続されていますか？	DCジャックにACアダプタのプラグが、奥まで差し込まれていることを確認してください。
		⑤ ミゼットヒューズが切れていませんか？	電池収納部の上にあるミゼットヒューズをピンセット等を使用して交換してください。 (0.5A / 125V)
(2)	本体から異音が出る	① 内部の部品が破損している可能性があります。	当社または購入先までご連絡ください。

警告



機器を分解・改造・修理しないでください。
またミゼットヒューズ交換時など、工具を製品内部に当てないでください。
感電・故障・発熱・発火のおそれがあります。

11. 保守・校正について

- 本機器は、(一財)日本消防設備安全センターの性能評定品で、3年以内の校正が義務付けられています。
- 次期校正シールの校正期限をご確認のうえ、当社または購入先へ校正を依頼してください。

警告



本機器は、次期校正シールの期限内で使用してください。
校正期限切れの機器での試験は認められません。

12. 仕様

種別	煙感知器用感度試験器
型式記号	F T D J 0 0 1 - P
性能評定番号	評2021-002号
構造	ポータブル型
主材	ポリカーボネート系樹脂
寸法	D195 × W107 × H70mm
質量	約550 g (電池込み：約640g)
校正期間	3年以内
使用温度範囲	0 ～ 40℃
使用湿度範囲	20 ～ 80%RH (結露しないこと)

11

12

主電源	1.5V単3形アルカリ乾電池(LR6) 4本 または 1.2V単3形ニッケル水素電池(HR6) 4本 または ACアダプタ(当社指定品 P.4参照) [入力] 100V ± 10%、50 / 60Hz [出力] DC6.5V / 300mA
連続稼働時間	[電池使用時] 24時間 [ACアダプタ接続] 連続稼働
試験可能台数	1台

NOHMI 能美防災株式会社

本社 / 〒102-8277 東京都千代田区九段南 4-7-3
TEL. (03) 3265 - 0211

支社 / 北海道 (011) 746 - 6911	東 北 (022) 221 - 2695
新 潟 (025) 243 - 8121	丸の内 (03) 3213 - 1781
茨 城 (029) 239 - 5280	千 葉 (043) 266 - 0303
北関東 (048) 669 - 2255	西関東 (042) 643 - 1520
横 浜 (045) 682 - 4700	静 岡 (054) 340 - 0013
中 部 (052) 589 - 3241	長 野 (026) 227 - 5521
北 陸 (076) 252 - 6211	関 西 (06) 6330 - 8661
京 都 (075) 694 - 1192	中 国 (082) 510 - 1125
岡 山 (086) 244 - 4222	九 州 (092) 712 - 1560

※記載の内容は2024年2月現在のものです。

<https://www.nohmi.co.jp/>

お問い合わせは…

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更する場合があります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。